



第378号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



カット：
本多紘子

人間は悲し

にんげん かな



梅雨明けも間近となり、真夏がすぐそこまで来ています。心光寺の周りの水田も田植えが終わり、ツバメが青田の上を元気よく飛びまわるこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

愚僧は昨年の11月に満72歳となりましたが、菅義偉総理や政府の五輪対策分科会の尾身茂会長のお二方も満72歳で驚いています。お二人とも高齢者とは思えないほどお元気だからです。一昨年の12月に中国の武漢で発生した新型コロナウイルスの感染流行が世界的には治まっていけないのに、東京五輪・パラリンピックを国内の観客を入れて開催したい菅総理と、日本医師会の専門家としての尾身会長は五輪開催は無観客が望ましいとの提言をされており、考え方や意見の違いはありませんが、日本国民のために精力的に動かれ、頭が下がります。

菅総理は遅れていたワクチンの供給を増やし、高齢者達に7月末までに2回目の接種が終わるよう各自治体に強制したお陰で、愚僧も6月17日に第一回目のワクチン接種が出来ました。お盆のお参りがあるので、門信徒の皆様は早く安心していただければと願っていたので嬉しかったです。接種翌日の午後から、身体がだるくなり半日寝込みましたので、第2回目の接種は不安と楽しみの複雑な心境です。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

日本では新型コロナウイルスによる感染が治まりかけていたが、変異株の出現によって第4波の感染流行となり、緊急事態宣言や「蔓延防止等重点措置」が東京都や大阪府等の各地で実施されました。こんなときに、東京五輪・パラを開催するのは危険だと国民の70%の人が感じているなか、菅総理はワクチン接種を一人でも多く受ければ安心安全な大会が開催できると、各自治体だけでなく、企業や大学にも早く接種できるように要請しています。ワクチン接種で外出も自由になれば消費が回復され、日本経済も好転すると張り切っています。

新型コロナウイルスの開発が急いでなされたので、接種後にどんな副作用があるか分からないそうで、特に若者達に5年・10年経ったとき悪影響がなければよいのにと愚僧は願うばかりです。

『大無量寿経』に「人間ほど浅はかなものはない。いずれも急がなくてもよいことを急ぎ、争わなくてもよいことを争っている。この激しい悪と苦しみの渦の中に、あくせくとして勤めはたらき、それによってやっと生計を保っているのである。……。田あれば田に悩み、家あれば家に悩む。金銭・財産・衣食・家財道具、さては使用人に至るまで、あればあるにつけて憂いはつきない」とありますが、2500年前のお釈迦様時代の人も、今現在の人も、生きること、老いていくこと、病気になること、死んでいくことに悩み、金銭や財産や家族のことで悩み続けているとしたら、人間は悲しい生き物ですね。

便利で豊かな生活を目指して頑張ってきた日本人ですが、貧富の差が二極化し、少数の金持ちとたくさんのお貧乏人に分かれたようです。特にコロナの流行で契約社員や非正規社員の方々が首を切られて職を失い、貧困で三度の食事にも困っています。仕事を失ったシングルマザーの家庭では、親子心中も考えるほど逼迫しています。

「東に病氣の子どもあれば行って看病してやり、西に疲れた母あれば稲の束を負い」は、宮沢賢治の『雨にもマケズ』の一節です。本当に困っている人を支える社会を目指したいな。合掌 (奥原 曇龍)

『急がずとも争わなくてもよいことを 急ぎ争う人間は悲し』 どんりゆう

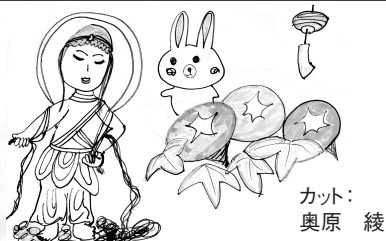
日時・七月七日「水曜日」午後一時半から午後四時頃まで。

仏教講話『歎異抄(たんにしょう)から学ぶ』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：
奥原 綾



お釈迦様ものがたり 57

紀元前6世紀から前五世紀ごろ、お釈迦様と同時代に宗教を興し、今日もおお生命を保つインドのジャイナ教について少し語らせていただきます。

ジャイナ教の伝によれば、マガダ国の国王の賢妻婆羅門も、次の王である息子の阿闍世もジャイナ教の熱心な信奉者であった。この王家は仏教だけでなく、ジャイナ教やバラモン教などにも敬意を表し、衣食住の供養をしてきたことがうかがわれます。

元来ジャイナ教祖のマハーヴィーラは、ガンジス河を隔ててマガダ国の北に隣り合ったワッジー国の王族の出身であり、その首都ヴェーサーリがジャイナ教の中心地でした。お釈迦様もワッジー国へもしばしば往来され、ここでは仏教信者がたくさん出来ていました。マハーヴィーラとは直接に会見もなく、議論をされたこともなかったようです。

マハーヴィーラは「偉大な勇者」を意味する尊称で、本名はバルダマーナ(繁栄をもたらす者)と言います。30歳で出家し、ニガンタ派と呼ばれる修行者の群れに身を投じて、12年に及ぶ厳しい苦行の後、完全知を体得してジナ(勝利者)となりました。ジャイナ教とは「ジナの教え」を意味します。

その後30年間教えを説き広めながら、遍歴のたびを続け、72歳でパトナ近郊の村で世を去りました。仏典では、ジャイナ教の始祖の名はなく、当時の代表的な6人の自由思想家(六師外道)のなかに、ニガンタ・ナータプッタという名で出ています。

ジャイナ教の特徴は、とくにアヒンサー(生き物を傷つけないこと。不殺生)を柱とする禁欲主義で知られます。マハーヴィーラは、当時バラモン教徒の間で行われていた家畜の犠牲祭をとくに批判し、動植物は勿論、地・水・火・大気を抛り所とする様々な生命の存在と、尊厳を説きました。合掌(奥原豊彦)

猛暑の夏に五輪もやってきた コロナに負けず勝利のともしび 田辺多恵子



6月9日 心光寺ともしび説法にて

ともしび法話

梅雨が明ければ、猛暑の夏。新型コロナウイルスの感染流行も早く治まって欲しいですね。夏祭りも自粛が多く、皆様お元氣ですか。心光寺も7月に入ると、お盆のお参りをさせていただきます。感染対策をしながら曇龍住職がお参りの予定です。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

岡山県も、緊急事態宣言で新型コロナウイルス感染者が減ってきました。友人宅で家庭内感染があり驚いています。私も夫婦はワクチンを2回打ち、ひとまず安心です。 豊島 豊

「18歳はバイク暴走 81歳は道路逆走」のち大切に
「18歳は寺に参らず 81歳は寺から離れず」
南無阿彌陀仏
倉敷市西富井 網本 健二

紫陽花も蛙も仲良く雨うれし
晴れても降つてもともしびの寺
お盆だよ先祖と妻を偲びつつ
心の健康まなぶ説法
倉敷市中島 山田 孝治

ともしび説法

日時・七月 七日「水曜日」 午後一時半から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

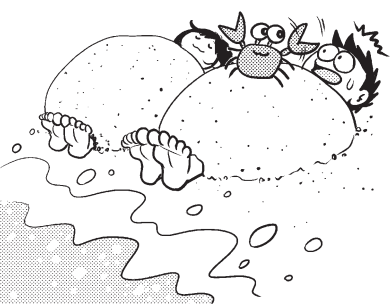
- 八月二十一日(土)・午前十時から昼十二時・早高の本堂。
- 九月 七日(火)・午前十時から昼十二時・早高の本堂。
- 十月 十一日(月)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成24、26年、平成27、29年、平成30、令和2年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れますよ。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

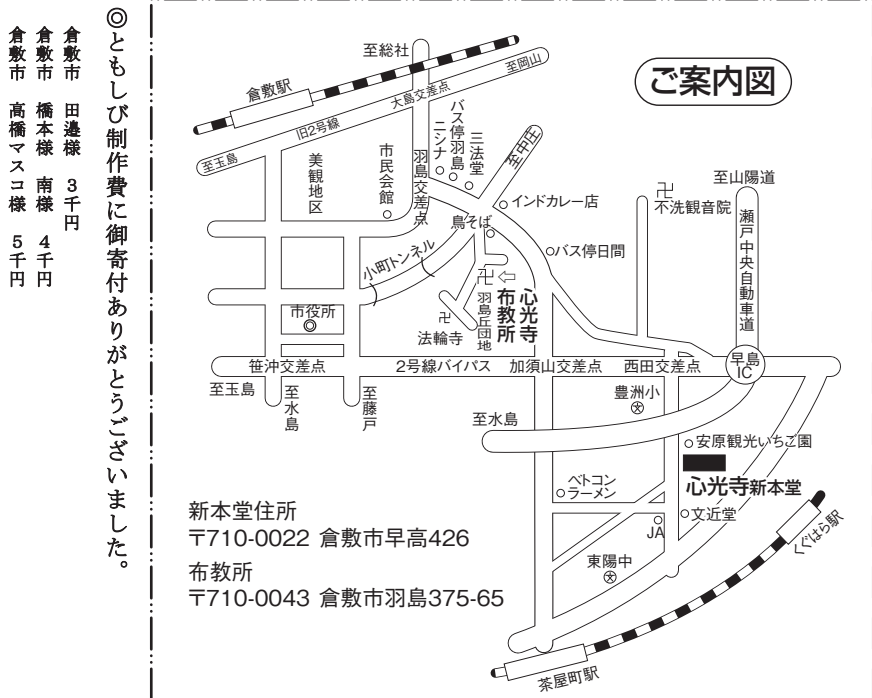


いころの詩

梅雨が明ければ猛暑の真夏がやって来た道しるべの石も夕陽に赤く焼け無理せず自分らしく生きると目一杯 かたる
もてない人生 もたない人生汗と涙ながしつ感謝で生きる



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 田邊様 3千円
倉敷市 橋本様 南様 4千円
倉敷市 高橋マスコ様 5千円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「378号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦